

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	サウンドエンジニアリング1
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位	開講時間		授業形態	演習
教科書/教材	必要に応じて譜面、資料等を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	川島 基宏/甲原 圭		実務経験の有無・職種	有・トラックメーカー/作曲家	
学習目的					
基本的なDAWソフト操作からサウンドメイキングまで修得し、またエフェクト効果などを習得することにより其々の作品のクオリティを上げていく事を目的とする。トータルバランスを視野に入れたサウンドメイキングを各学生が制作し2年次での卒業制作・デビューに向けての準備を行う。					
到達目標					
音楽制作に必要な基本的な操作・知識・技術を学ぶ。1年次は主に4リズムセクションへのサウンド効果の技術・知識の習得を目標とする。実際の生楽器にも触れることにより、DTMにおける作業にリアリティを持たせる。生楽器の音を知ることにより、DAW上で施すエフェクト処理に大きな違いが生れることを意識づける					
教育方法等					
授業概要	DAWの操作方法、基本概念、基本的な（ベーシックな）エフェクトの使い方をCubaseを使用して学んでいく。 授業前半は講義・解説、後半はそれを実際にPCを使い実践していくスタイルで行う。				
注意点	スキルに個人差があるので、個別対応も行う。不明な点はその場で質問すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	40%	課題発表の内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	基本概念		音楽制作の実情と何が必要かを把握する		
2回	DAWの操作方法①		基本操作法、PCソフト立ち上げ・保存方法		
3回	DAWの操作方法②		音色の設定、トラック制作		
4回	DAWの操作方法③		ソフトウェアの各機能の理解・操作法		
5回	ドラムサウンド①		入力方法、パターン		
6回	ドラムサウンド②		コンプレッサー、エフェクト効果		
7回	ベースサウンド①		入力方法、パターン		
8回	ベースサウンド②		コンプレッサー、エフェクト効果		
9回	ギターサウンド①		入力方法、パターン		
10回	ギターサウンド②		コンプレッサー、エフェクト効果		
11回	キーボードサウンド①		入力方法、パターン		
12回	キーボードサウンド①		コンプレッサー、エフェクト効果		
13回	4リズム		音の基礎知識、サンプリング周波数、ビットレート		
14回	4リズム		音の基礎知識、サンプリング周波数、ビットレート		
15回	前期まとめ		作品提出		